

一般社団法人 高齢者住宅推進機構

第8回定例セミナーのご案内

第8回セミナーは、自らも姑の介護をしながら、老人施設と介護スタッフ、高齢者の家族などに取材を重ねてこられた田中奈保美様に、「人間らしい最期」とは何か、人工栄養という延命治療が高齢者から自然な最期を遠ざける—。家族と自分のためにいま、知っておきたいことは何かを問う。終末期の医療の現状についてご講演いただきます。

さらに、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所研究部長 栗田主一様から、認知症の原因疾患と症状、認知症になっても安心して暮らせる社会についてご講演いただきます。

皆様におかれましても、いずれも関心の高い内容であると思いますので、万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますようご案内申し上げます。受付は先着順とさせていただきますのでお早めのお申込みをお願いいたします。お申込みは、参加申込書にご記入の上、FAXまたはE-Mailにてお申し込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

* できるだけ多くの会員各位に参加していただきますよう、当分の間、正会員・情報会員はともに参加者数に関わりなく参加費を無料とします。なお、一般の方は、お一人様 3,000 円をいただきます *

*** 田中奈保美氏プロフィール ***

1950年生まれ。横浜国立大学卒業後、コンピュータープログラマーとして会社勤務。のちフリーライターとして独立。女性誌をはじめ、新聞、PR誌で人物インタビュー、旅行、外食、医療などの分野で幅広く活動。携帯サイト「食の平和歳時記」でも食に関する記事を多く執筆。

著書に『枯れるように死にたい』（新潮社）、『患者は泣き寝入りするものか』（編著）『更年期無気力シンドローム』（以上、主婦の友社）、『転機は勝機』（日経BP社）、『おひとりさまの更年期』（主婦の友文庫）などのほか、マンガ『壬生ブリ』（春夢プロジェクト）の原作を手がける。

*** 栗田主一氏プロフィール ***

1984年山形大学医学部卒業。1997年東北大学医学部附属病院神経科精神科講師。2001年東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野助教授。2005年仙台市立病院神経科精神科・認知症疾患センター科長を経て、2009年より東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と介護予防研究チーム研究部長（現職）。著書は、『日常診療で出会う高齢者精神障害のみかた』（中外医学社、編著）、『スーパー図解 認知症・アルツハイマー病—予防・治療から介護まで、これで安心の最新知識』（法研、監修）ほか。

記

日 時 平成24年12月11日(火)13時～16時20分 開場 12時30分

会 場 住宅金融支援機構 本店1階すまいるホール（東京都文京区後楽1-4-10）

プログラム

1. 枯れるように死にたい—「老衰死」ができないわけ—(仮) 田中奈保美
2. 認知症対策について(仮)

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所研究部長 栗田主一

お問合せ先 一般社団法人 高齢者住宅推進機構 事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-20-9 京橋第八長岡ビル4階

TEL 03(6682)3685 FAX 03(6686)1411 E-mail info@shpo.or.jp <http://www.shpo.or.jp>